



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第372号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

網のなかの共同体 イ・スンヒョン神父

韓国の神学校では、助祭になる前まで10年を神学校で生活しなければなりません。軍隊の兵役期間3年を除いて、7年間をずっと同じ顔の同級生たちと、嫌が応でも生活しなければなりません。司祭職を目指している天使のような友達と、一日の24時間を6年間一緒にすることについてどう思われますか？『毎日が神様の恵みのなかで幸せな生活になるんじゃないのか？』と思われますか？

はい、そのとおりです。同級生皆のために、厳しい神学校での生活は幸せで、楽しかったです。もちろん今も外国で頑張っている私のために、お祈りで応援してくれているし、いろいろな惜しみない支援をあたえてくれている私たちの同級生の神父様たちと司祭職という同じ道を歩いて行っているのは本当に幸せなことに違いありません。

しかし、私の同級生たちが本当に‘天使’のような人々だったからという理由のため、神学校の生活が幸せだったとは言えません。

神学校に入学したばかりの1年生の時には、神学校には私以外のすべての神学生たちは天使だと思っていました。しかし、少し時間がすぎると、神学校というところで天使というイメージに一番似ている人は、私しかいないということに気付くことになりました。

やはり、神学校も一般人たちが集まって生活するところでした。

食欲の前では兄弟は見えないし、権力の前では仲間意識は全然ありませんでした。お菓子を自分ひとりで食べようと思って、皆で分けて食べなくて、寝る前隠しておいたお菓子をこっそり食べようとしたが見つかってしまった同級生もいたし、出身教会に自分の先輩たちが多いという理由で、同級生なのに同じ立場の同級生に肩をはる同級生もいました。こういう同級生のことはどうにか我慢できました。ただ、唇をかみ締めて我慢したら我慢できました。しかし、見るからに厭な人はどうでしょうか？

頭だけ見ても嫌いな同級生が一人いました。お祈りがうまくいかなかったら、このいやな同級生のせいだと思ってしまったり、重要な試験があるときに勉強が進まなくなったら、この全てのことが全部その好きでない

クルシリヨに参加して	2・3面
ふれあい会より	3面
小教区委員会	4面
からしだねこの5年間	5面
潜伏キリシタン・今月の聖人	6面
教会学校	7面
お知らせ・短歌	8面

同級生のせいだと思ってしまったりしました。

なぜ、神学校に入ったのかというのが気になるほど、その同級生の存在自体が耐えられなくなりました。

このように同級生という意味が少しずつ変化していったところから、私は神学校の同級生をはじめ先輩、教授神父様まで、神学校の人々をさまざまな理由で評価し始めました。

『あ・・・あの人やっぱりこれがたりないね・・・。とかその人はそれが欠点で気に入らない・・・、あの先輩は面倒見が絶対よくない・・・。』などと文句ばかりでした。

しかし、こういう評価は私だけの評価だと気がしました。

私がいまだにあまりよくない評価をした先輩たち、同級生たち皆、今は各小教区で信者さんからまじめな神父だといういい評価を受けていて司祭として立派な模範を示しています。

私にとっては神学校のあの先輩、あの同級生は欠点ばかりの人たちに見えていたのですが、神様にはそうではなかったようです。

天の国のたとえで、イエス様は私たちを網にかかった魚だとおっしゃいます。つまり、私たち皆は網にかかって、漁師の船の上まで

引き上げられた様々な種類の魚たちです。

そのために、私たち同士に『あなたのうろこの色はいいね、悪いねとか、えらが大きいね・・・。小さいね。』という話をするのは何の意味もありません。

どうせ、網にかかった魚を良いものと悪いものにわけ方は神様だからです。

この世で自分たち同士で恥をかかないように、^{おしよく}侮辱されないように、努力して生きて行くのは何の意味があるのでしょうか？

カトリックの信者として意味のある生というのは、結局神様の前での生、天の国での生だと思います。今の目の前のことではなくて、天の国での神様の審判のことについて心配して生きて行った方が良いのじゃないかと思っています。

私たちの周りの人々を自分の基準で評価したり、先入観をもって判断したりするまえに、神様は私のことについてどう思っているのか、どんな評価をしていらっしゃるのかを考えなければならぬと思います。

4月から水巻教会に赴任しました。頑張りますので、お祈りをお願いいたします。

『(マタイ13, 47) 網が湖に投げ降ろされ、いろいろな魚をあつめる。』



「福岡黙想の家」にて第35回クリシリヨに参加して

海老津地区・松永貴美子

五月晴れのゴールデンウィークのさなかに、どんな研修なのか訳も分からずポカンとして黙想の家に入りました。

今年度の参加者は8人。皆さん口をそろえて「前もって何があるのか、誰に尋ねても教え

てくれないのよ」との事。

…私、少し不安に…

さらに、スタッフリーダーよりのはじめの説明で、「クルシリヨは自分から学び取って下さい。ただ与えられるままではありません」ときっぱり。

…私、ますます不安に…

5月3日の午後より三日間、宮原司教様はじめ6人の神父様、クルシリヨ体験を経てスタッフとなった方々が、体験を交えて語って下さいました。お話は感動とともに「自分のありよう」を反省しました。

さらに、宮原司教様は「信徒の皆さんひとり一人が、立場、職業を生かして、その町、その地域で、ノンクリスチャンの人々と交わり、架け橋となって下さい」と熱く語られました。

今年の目標。神の慈しみをさらに生き、広めよう。

私も心に深く留め、福音生活に進みます。また、様々な教会共同体の方々が、クルシリヨの学びの充実のための霊的花束を贈って下さいました。美しく飾られたカードにたくさん詰まった祈りに、感謝で胸いっぱいです。

何事にも至らない私ですが、感動と反省の心を抱きながら、最終日5月5日、黙想の家を後に私の学びの第一歩が終わりました。



<ふれあい会からの通信>

お茶当番

2018年

ふれあい会

第1日曜日	第2日曜日	第3日曜日	第4日曜日	第5日曜日
小笠原	大原	田中	吉田	大塚
田中玲子	傍士	西村	岩崎	橋本
橋本	赤石	大塚	橋本	大原

*お茶当番の都合の悪い時は速やかに個別に話し合って代わって頂く。

*お茶当番は表の通りですが、帰りの片付けなどは手の空いている人で手伝う。

*時間のある時は信徒会館の周りを掃く。

*当番は8:30までに来て準備する。

*いつでもだれでも入る事が出来ます。多くの参加をお待ちします。

リーダーに伝えてください



リーダー 大原

リーダー 橋本

委員会等報告

2018年5月分

5月度小教区委員会 5月13日

1. 行事予定

- ・6月3日(日)小教区委員会・総会議案最終確認&印刷
- ・6月10日(日) 総会議案 配布
- ・6月24日(日) 総会

2. 議事

行事報告、行事予定、決算報告、予算報告を含め、記載内容の読み合わせ、確認を行った。会計監査は川島さんをお願いした

3. 北九州信徒協活動報告

①体制について

司祭団から司教様に申し入れ。

熊本、佐賀地区は宣教司牧評議会へと衣替えしたが、北九州地区は現体制でしっかり機能していることもあり、現在の信徒使徒職協議会としての体制を継続することとしたい。

②福音宣教部会

平和の集い

- ・8月5日に実行。内容、テーマについても見直していく。
- ・3月25日(日) 代表者会議(各教会から1名)小倉教会。内容、テーマについて話し合い。実行内容、方針が定めれば、実行委員会発足までこぎつけたい
- ・4月15日(日) 第一回実行委員会

③信仰育成部会

聖書講座 年間テーマ「信仰の証 ～加賀山隼人 殉教400年を記念して」

- ・4月22日 小倉教会 講師 深堀神父(湯川教会)

・6月 新田原教会 講師 牧山神父
(新田原教会)

・9月 直方教会 講師 大塚神父
(直方・田川教会)

・11月 小倉教会 講師 ベリオン神父
◎典礼研修会 テーマ「ミサについて」
5月13日(日) 小倉教会 14:00～
講師 十時神父

④青少年育成部会

・活動はこれから。教会学校について各小教区の事情を把握することから始めたい(次回信徒協開催時)

・平和の集い 子供広場の担当
必要性含めて議論したい。

⑤その他

- ・牧山神父(小倉)から提案
- ・2019年は加賀山隼人殉教400周年にあたる。加賀山隼人が証した信仰を形として表したい。加賀山半左衛門、小笠原みやなどにも光を当てたい。具体的には、案として10月に記念ミサ。(講座を開催してからミサ)記念事業としてではなく、毎年ミサを捧げることも考えたい。
- ・花岡山巡礼
次回5月27日(日)小倉教会 14:00～
- ・教会学校の現状について報告
- ・加賀山隼人について知る機会 各小教区より提案

3. その他要望

(1)駐車場の車の止め方を検討して欲しい。

教会広報誌「からしだね」、この5年間の方針

広報委員会 三谷

2013年4月にマヘル神父様が着任されてから1年弱の年明けて2月。その頃、私は広報委員長ではなかったのですが、マヘル神父様から私に激しい口調で、「広報の方針はどうなっているのか？」と詰め寄られました。その時、私は脳裏において「手に入れられる原稿、それに執筆可能な原稿で、毎月の広報を作るといことです。それでいけないでしょうか？」と思いましたが、言葉にはできませんでした。神父様の言い方を考えるに、何かの記事に問題があるなら、その記事のみを批判されればよかったと思いますが、「方針は何か」との言葉を頂き、かつ「詰め寄られる」ということは、批判・非難が広報誌すべてに及ぶように思われました。

但し、その時ではなく、しばらく後に、同神父様から、教会行事を、特に写真を掲載するように薦められたことは、理に叶うもので、ただちにそのようにしました。写真を撮り、輪転機(黒インク)刷りにより、写真掲載が始まりました。輪転機印刷の担当者は交代しましたが、担当していただく方には、そもそも低質なインク印刷に依りながら、神業のような濃淡で印刷して頂いています。なお、ネット版では、写真もイラストもカラーで見られます。

あの頃から5年間経過。今になって、この年月を振り返れば、何に重点が置かれたか、あるいは、意識せぬうちに方針がどうなってきたか、を語ることができます。

この5年前より少し前においては、例えば第2バチカン公会議の内容紹介(連載)等に熱を入れていました。5年前の直後では毎夏の「北九州平和の集い」、「正義と平和集会」(於・大名教会)等の内容紹介に大きな紙面を作成しました。これらはあまりにマニアックであり、きっと皆さんから、「空転している」等のご指摘があったかもしれません。しかしその中で、ペルーやボリビアの支援については担当の方と歩調を合わせて書いたと思います。

最近の記事は、分量的には多くはないはずですが、目指す方向としては精緻さを心がける様になっています。執筆してくださる方に、精緻を目指せと号令かけているわけではないですが、以心伝心で、例えばご婦人層に黙想会等の感想を書いて頂いている記事においても、精緻な内容を書いて頂いていると思います。なお黙想会・講話の記事については、講師によっては難解、しかし文脈全体を理解すると、非常に有意義なものもあります。当日・当座では筋が感じられずとも、編集時に再構成して、筋を明白につけた原稿をお目にかける、そういうように心がけています。それは間接的に、周りにいる複数の人の記事向上にもつながっているとされます。

さてこの5年間、聖書解説や典礼の記事、優れた説教の記録(実に前任の神父様の説教がしばしば優れていたと思い、書き留めたいと思ったのですが、当の神父がそれを許して頂けなかった!)に関して、この4月から色々な制約が溶けてゆく可能性があります。新たな企画を始められる可能性もあります。広報委員一同、特色をしっかり作って行きたいです。

潜伏キリシタン 世界遺産登録へ

広報委員会 三谷 尚

良く言えば、私は「もの持ちがよく」（もの持ちが良すぎて・・・）、手元に3年前の、2015年3月15日付けのカトリック新聞があります。そこにあるのは、ユネスコ世界文化遺産の候補として、日本政府から推薦された『長崎の教会群とキリスト教関連遺産』の記事、そこには14か所の構成遺産（大浦天主堂、出津教会堂、大野教会堂、黒島天主堂、田平天主堂、平戸の聖地と集落・・・、原城跡、等が挙げられていました。その各教会の写真の美しいこと。

それがそのまま、ユネスコレベルで確定できれば、もちろんよかったです。それから3年の間に、「国際記念物遺跡会議（イコモス）」の指導に従い、一度は推薦を取り下げたものの、禁教期に焦点を絞った戦略変更の後に、姿を変えてのユネスコの勧告『長崎と天草地方の潜伏キリシタン世界遺産への登録』を得ることができました。詳しいタイトルは、「江戸幕府がキリスト教を禁

.....
今月の聖人 11日 聖女マルガリータ（スコットランド）1045年-1093年

マルガリータは、1045年英国の王聖エドワードを父として生まれました。幼いころから信心深く、人の苦しみを理解し、たえず祈りながら自分よりもっと不幸な人を見舞ったりしていた。マルコム3世の王妃になってからも、貧しい人びとに奉仕し、善行をつんだ。夫も感化され、慈善事業の資金や病院の設立に援助した。国の母として国民に慕われ、聖堂を多数建立したり、国内に工場を設け、仕事を国民に与え、対外的には隣国と平和を保つように配慮した。1093年天国へ旅だった。

じた17世紀～19世紀、長崎県と熊本・天草地方で伝統的な宗教や教会と共生しながら、ひそかに信仰を守り続けた「潜伏キリシタン」が育くんだ独特の文化的伝統を示す遺産群」となるそうです。

特定された遺産の各箇所は、前述、3年前の候補の重複も当然ありますが、次のものです。南島原市：原城跡、平戸の聖地と集落（春日集落と安満岳）および（中江ノ島）、長崎市：外海の出津集落、大野集落、大浦天主堂、・・・。天草市：天草の崎津集落。

各自治体、各教会が努力を重ね、この遺産登録を得たことに、喜びの声が上がっています。しかし何より、200年に渡り、信仰をつないできた信徒の、比類なき力こそが、この登録を、政治的な力によるもの、外的なショーによるものでなく皆が一致して認めたという当然の結果を生んだ、ということではないでしょうか。



教会学校の ページ

出席者 山田蓮さん 樽角樹祈さん 黒石絢都さん 3名

今年度初めての教会学校でした。うれしいことに今年度は二名の新一年生が加わり、賑やかなスタートとなりました。5年生になった蓮君を中心にこの一年間、教会学校は明るく元気に水巻教会を盛り上げていきたいと思います。初日の勉強会は自己紹介となりました。またこの四月より水巻教会で司牧実習の宮崎神学生も、例年通り教会学校のお手伝いをしていただきます。子ども達とともに、大人である私たちも信者として、人として日々成長できる一年にしたいと思います。

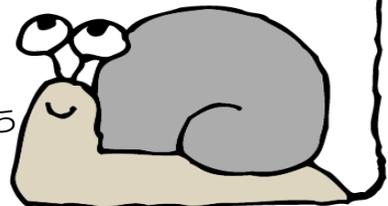


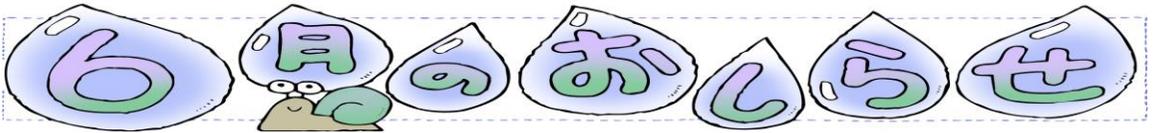
5月13日

出席者 山田蓮さん 樽角樹祈さん 黒石絢都さん 3名

最初に 蓮くんが今日の福音、マルコ 16 章 15 節～20 節を音読してくれました。そして、冊子こじかの林正人司祭の解説を読みました。林司祭は小学校 6 年生の時に受洗されたそうですが、その時、仏教徒であるおばあさまが語ってくれた言葉を大切に、現在も過ごしているということでした。おばあさまはキリスト教になったことを大変理解し褒めてくれたそうです。そして同様に他の宗教、宗派の人のことも大事に尊敬の念をもっていくようにとも言われたそうです。今日のミサはイエス様が地球を離れ天に昇って行ったこと、お弟子さんたちとの別れの内容でした。少し寂しい気持ちになりますが、イエス様はその後も弟子さんたちの心と一緒に働いて力となりました。私たちも周りの人に対して、最初から何かを決めつけるのではなく、またためらうことなくイエス様のことを伝えていきましょう。イエス様はいつも一緒です。

また今日は、母の日でした。お母さんへの感謝の気持ちと共に、アベマリアの祈りをみんなで唱えました。





★特別献金★

5月6日 広報の日献金

¥22,340

ご協力、ありがとうございました。

★信徒総会★

日時：6月17日(日) ミサ後

信徒の皆様の参加をお願いします。

総会資料は、10日にお渡ししますので、事前に目を通されてください。

★駐車場の止め方★

以前より、駐車場が狭くなっていますので、後から来る方が止めやすいように、みんなで協力し合って止めるよう心掛けましょう。

★熊本地震被災者支援「田植え」★

日時：6月10日(日)

場所：熊本県 西原村

西原村の田植えの手伝いと現地の方々との交流を目的としています。

教区として参加をしますので、参加を希望される方は、聖堂後ろの用紙に必要事項をお書きください。

詳しい内容を書いた紙も聖堂後ろに置いてあります。

人-ひと

【帰天】安らかに

◇5月5日 トマス 島向 正則さん
(遠賀地区)

折尾地区 西山寿美枝さんの短歌

梅雨空にこんもり咲きしサルスベリ

きわまるごとく夜を白く咲く

蝉しぐれ鳴く事だけが許されて

県命のこえ県命に生く

ペン皿に蝉の抜け殻おいて見ゆ

夜の灯に目玉とび出しており

駅までをタクシーに乗れば自分の道ゆく

運轉手の料金まちまち

透析の友逝きて部屋空きけり

弥生の一日を静かに祈りぬ

公園の桜満開窓により

独りで眺む独りを秘めて

茄子の葉のすがれし畑の異様に

一瞬まなこのとらわれていく